

第2節 予防対策

1 感染症予防

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症に対する正しい知識の普及啓発を行うとともに感染症の発生予防やまん延防止のため、感染症の発生情報を提供している。また、感染症の診断を行った医師からの届出を受けて、患者・家族等に対する積極的疫学調査を行い、接触者の健康診断及び保健指導を実施し、感染拡大の防止に努めている。

(1) 1～3類感染症及び新型インフルエンザ等感染症の発生状況

① 年度別発生状況

(単位：件)

分類	疾患名	区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1類	エボラ出血熱、ペスト等	患者等	-	-	-	-	-
2類	急性灰白髄炎	患者等	-	-	-	-	-
	ジフテリア	患者等	-	-	-	-	-
	重症急性呼吸器症候群	患者等	-	-	-	-	-
	結核	患者等	100	81	46	47	44
	2類感染症 小計		100	81	46	47	44
3類	腸管出血性大腸菌感染症	患者	4	6	3	18	10
		無症状病原体保有者	2	3	-	3	3
	コレラ	患者等	-	-	-	-	-
		無症状病原体保有者	-	-	-	-	-
	細菌性赤痢	患者	-	-	-	-	-
		無症状病原体保有者	-	-	-	-	-
	腸チフス	患者	-	-	-	-	-
		無症状病原体保有者	-	-	-	-	-
	パラチフス	患者	-	1	-	-	-
		無症状病原体保有者	-	-	-	-	-
3類感染症 小計		6	10	3	21	13	
新型インフルエンザ等	新型コロナウイルス感染症	患者等	-	4	918	17,403	73,822
	新型インフルエンザ等感染症 小計		-	4	918	17,403	73,822

※平成27年1月に「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が改正され、2類感染症に「中東呼吸器症候群」及び「鳥インフルエンザ（H7N9）」が追加された。

※令和2年2月に「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が改正され、指定感染症に「新型コロナウイルス感染症」が指定された。令和3年2月、同感染症の位置付けが「指定感染症」から「新型インフルエンザ等感染症」に変更された。

② 月別発生状況

(単位：件)

分類	疾患名	令和4年										令和5年			計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1類	エボラ出血熱、ペスト等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2類	結核	3	6	5	8	1	2	4	1	4	4	3	3	44	
	急性灰白髄炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ジフテリア	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	重症急性呼吸器症候群	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
3類	腸管出血性大腸菌感染症	-	1	4	3	5	-	-	-	-	-	-	-	13	
	コレラ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	細菌性赤痢	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	腸チフス	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新型	新型コロナウイルス感染症	3,193	2,176	1,407	11,404	19,264	7,166	2,626	5,700	10,466	8,171	1,661	588	73,822	

(2) 集団感染（疑）事例の発生・対応状況

(単位：件)

感染症の種類	病原体の種類	施設の種別				発生件数
		医療機関	高齢・障がい福祉施設	保育園	その他	
感染性胃腸炎	ノロウイルス	-	-	10	-	10
	ロタウイルス	-	-	1	-	1
	その他・不明	-	-	18	-	18
インフルエンザ	インフルエンザウイルス	-	-	-	-	0
水痘	水痘-帯状疱疹ウイルス	-	-	-	1	1
新型コロナウイルス感染症 (クラスター)	新型コロナウイルス	49	190	1	3	243

(3) 高病原性鳥インフルエンザ発生時対応

市内養鶏場等で高病原性鳥インフルエンザ（H5N1）の発生があったため、防疫作業に従事した職員の健康観察を行った。

発生日	養鶏場の規模	養鶏場の従事者数	防疫作業従事者（健康観察対象者） 延べ人数
令和5年1月18日	4,000羽	2人	302人
令和5年1月25日	41羽	1人	15人

(4) 感染症予防啓発（健康教育・研修会など）

① 感染症対策従事者研修会

1) 学校・社会福祉施設対象

テーマ	新型コロナウイルス感染症の事例から見える感染予防対策のポイントについて
日時	令和4年12月5日～12月11日 動画配信
対象者	市内の保健・教育・福祉等関係者
講師	保健所保健予防課職員
申込施設	86施設

2) 医療従事者対象

テーマ	新型コロナウイルス感染症経緯と対策の振り返り 保健所業務からみえたもの
日時	令和4年11月24日 15:00～16:00
対象者	市内の保健医療従事者
講師	保健所保健予防課職員
参加者数	オンライン研修会のため未把握（申込先は大津市医師会）

当課で企画している研修会以外にも、団体より依頼のあった研修会に講師として出動している。

② 感染症対策実務担当者連絡会議

新型コロナウイルス感染症の発生に伴い、令和4年度は医療機関に対象を限定して開催した。

1) 医療機関対象 ※令和4年度実績

内容	・大津市内における新型コロナウイルス感染症発生状況 ・新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけ変更後の対応について情報交換
日時	令和5年3月24日 15:00～16:30
対象者	市内病院の感染管理看護師・感染症対策担当者
参加者数	20人

2) 高齢・障害福祉施設対象 ※令和元年度実績

内容	講座「自施設における感染症対策 ～アウトブレイク発生時の対応と課題～」 講師：大津赤十字病院 感染管理認定看護師 前田朋美 氏 情報交換「感染症発生時の対応について」
日時	令和元年12月2日 14:00～16:00
対象者	市内高齢・障害福祉施設（入所型）の感染症対策担当者
参加者数	22人

3) 大津地域感染症担当者連絡会議 ※令和元年度実績

内 容	一類・二類感染症の疑い例・相談対応等の情報共有 帰国者・外国人等の受診事例検討 感染症対応合同訓練について
日 時	令和2年2月18日 9:00～11:00
対象者	市立大津市民病院、滋賀県薬務感染症対策課、大津市保健所の感染症対策担当者
参加者数	4人

(5) 感染症発生時対応訓練

① 一類・二類感染症

「大津市ウイルス性出血熱対応の手引き」「大津市中東呼吸器症候群（MERS）対応の手引き」に基づき、保健所職員を対象に研修を実施している。（令和2年度以降、実施を見合わせている）

※令和元年度実績

開催日	参加者（人）	内容
令和元年 7月25日	保健所職員 14人	・患者搬送の実技訓練 ・N95マスクのフィッティングテスト

② 高病原性鳥インフルエンザ

「高病原性鳥インフルエンザ人の健康観察実施マニュアル」に基づき、保健所職員を対象に研修を実施している。また、県内における高病原性鳥インフルエンザの発生を想定した訓練・研修（滋賀県主催）にも参加している。

開催日／参加日	参加者（人）	内容
令和4年 12月28日	保健所職員 3人 他、県内家畜防疫担当者等	【滋賀県特定家畜伝染病防疫研修会】 ・集合場所の設置・運営と作業導線の確認 ・防護服の着脱支援について ・その他情報共有
令和4年 10月28日	保健所職員 54人	【高病原性鳥インフルエンザ発生時対応マニュアルの配布】 業務従事者に対し、インフルエンザワクチン接種時にマニュアルを配布し担当業務の確認を行った

③ 新型インフルエンザ

平成31年3月、新型インフルエンザ等の予防接種体制を構築し、円滑に実施することを目的とした「大津市新型インフルエンザ等住民接種ガイドライン」を策定し、関係機関に周知するとともに、ホームページにて公表している。

また、平成31年3月に厚生労働省から通知された「新型インフルエンザ等対策に係る住民接種実施要領」に基づき、接種対象者数を試算登録している。

(6) 新型コロナウイルス感染症対策

令和2年2月から、感染症法に基づく「指定感染症」に指定された。

令和3年2月からは、感染症法上の位置付けが「指定感染症」から「新型インフルエンザ等感染症」に変更され、期限の定めなく必要な対策を講じられることとなった。

① 相談窓口・連絡体制

令和2年2月4日、「帰国者・接触者相談センター」を保健所内に設置した。

令和2年11月から、センターの役割を見直し、「受診・相談センター」に名称を変更した。

令和4年6月1日から、「受診・相談センター」業務を東武トップツアーズに委託した。

受診・相談センター（旧：帰国者・接触者相談センター）における受付状況

年度	相談対応件数	帰国者・接触者外来に紹介した人数
令和元年度(2/4~3/31)	2,203件	79人
令和2年度	18,272件	682人
令和3年度	17,621件	1,023人
令和4年度	20,287件	338人

② 行政検査（核酸増幅検査、抗原検査）の実施状況（令和5年3月31日までの累計）

区分①	区分②	実施件数
保健所実施	疑似症患者	286
保健所実施	濃厚接触者、検査対象者	30,628
保健所実施	その他（陰性確認等）	571
地域・外来検査センター	大津PCR検査ポイント ※R2.9.30終了	101
診療・検査医療機関	市内医療機関	258,846

③ 予防啓発活動

- ・ホームページ・メール配信・メディア媒体による情報発信
- ・事業者・団体向け注意喚起
- ・市民センター、すこやか相談所、図書館、生涯学習センター、本庁窓口課等にチラシ設置
- ・広報おおつへの掲載

2 結核予防

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、結核患者発生時対策、療養支援、接触者健康診断、登録患者の管理等を行い、結核の発生予防及び患者の早期発見から感染拡大防止を図っている。

(1) 感染症法第37条の規定による結核医療費の被保険者等別公費負担の状況 (単位：件)

区 分	被用者保険		国民健康保険			後期高齢者 医療保険	生活 保護法	その他	合計
	本人	家族	一般	退職					
				本人	家族				
前 年 末 数	-	-	-	-	-	2	-	-	2
新規承認数	2	-	2	-	-	8	4	-	16
解 除 数	1	-	2	-	-	10	4	-	17
本 年 末	1	-	-	-	-	-	-	-	1

※入院勧告を実施した場合における当該患者が感染症指定医療機関において受ける医療に要する費用を公費負担するもの（令和4年1月～令和4年12月末）。

(2) 感染症法第37条の2の規定による結核医療費の被保険者別公費負担の状況 (延件数)

区 分	被用者保険		国民健康保険			後期高齢者 医療保険	生活 保護法	その他	無保険	合計
	本 人	家 族	一般	退 職						
				本人	家族					
申 請	6	5	8	-	-	29	5	-	-	53
承 認	6	5	8	-	-	29	5	-	-	53
不承認	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※結核患者が結核指定医療機関において厚生労働省で定める医療を受けるために必要な費用の95%に相当する額を公費負担するもの（令和4年1月～令和4年12月末）。

(3) 結核新登録状況

新登録患者状況（年齢階級別）

(単位：人)

年齢 区分	新登録患者		活動性結核							潜在性結核 感染症 (別掲)	
			活動性肺結核						肺外 結核		
	患者数	罹患率	総数	喀痰塗抹陽性			その他の 結核菌 陽性	菌陰性 ・ その他			
				初回 治療	再治療	計					
0～4歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
5～9歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10～14歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15～19歳	1	5.9	1	-	-	-	1	-	-	-	-
20～29歳	3	9.1	3	1	-	1	1	1	-	-	-
30～39歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
40～49歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
50～59歳	2	4.1	1	-	-	-	-	1	1	1	1
60～69歳	4	9.8	3	2	-	2	1	-	1	1	2
70歳以上	29	39.1	15	8	1	9	5	1	14	14	3
合計	39	11.3	23	11	1	12	8	3	16	16	9

(令和4年1月～令和4年12月末)

(4) 結核登録者状況

登録者状況 (年齢階級別)

(単位:人)

区分	登録患者		活動性結核								有病率 (人口 10万対)	不活動性 結核	不明	潜在性 結核 感染症 (別掲)
	登録者数	登録率 (人口 10万対)	活動性 結核 総数	活動性肺結核					肺外 結核					
				登録時喀痰塗抹 陽性			登録時その 他の結核 菌陽性	その 他						
				初回 治療	再 治療	計								
0～4歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
5～9歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10～14歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15～19歳	1	5.9	1	1	-	-	-	1	-	-	5.9	-	-	-
20～29歳	4	12.2	2	2	1	-	1	-	1	-	6.1	2	-	-
30～39歳	2	5.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-
40～49歳	1	2.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
50～59歳	7	14.2	1	1	-	-	-	-	1	-	2.0	4	2	-
60～69歳	7	17.2	3	2	1	-	1	1	-	1	7.4	1	3	2
70歳以上	54	72.9	17	7	2	1	3	4	-	10	22.9	26	11	1
合計	76	22.1	24	13	4	1	5	6	2	11	7.0	34	18	5

(令和4年12月末現在)

(5) 結核登録除外状況 (令和4年1月～令和4年12月末)

(単位:件)

区分	死亡		観察不要	転出	転症	計
	結核	その他				
大津市	2	27	56	2	2	89

(6) 結核患者保健指導 (令和4年1月～令和4年12月末)

新規登録患者に対しては、積極的疫学調査及び服薬支援等を目的に全数実施している。(LTBI含む)

対象者 (新規登録者) 48人

実施方法及び件数 訪問 36件、来所 10件、電話 2件

(7) DOTS (直接服薬確認療法) 事業 (令和4年度)

大津市結核患者療養支援事業実施要領を策定し、服薬継続のためのアセスメント票に基づき、訪問・電話等により継続的な服薬支援を実施している。(転出、死亡、LTBI含む)

対象者 75人

実施方法及び件数 (延べ) 訪問 195件、電話 211件、来所 16件、手紙 97件、
薬局DOTS 16件

(8) 接触者健康診断 (令和4年度)

結核患者の発生届けを受理し、積極的疫学調査の結果、結核に感染していると疑われる者について法律第17条により、二次感染による患者の発生予防及び早期発見のため健康診断を実施している。

対象者数 (延べ) 154人、受診者総数 151人、受診率 98.0%

区分		保健所 実施分	医療機関 委託分	その他(職場検診等)
受診者数(延べ人数)		148	2	1
(※) 内	胸部エックス線検査	20	-	-
	ツベルクリン反応検査	-	-	-
	IGRA検査	143	2	1

単位:件

※検査項目の

重複実施あり

健診結果 異常なし92人、潜在性結核感染症4人、結核性胸膜炎1人、経過観察4人

3 特定感染症

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」及び「特定感染症検査等事業実施要綱」に基づき、正しい知識の普及啓発を行うとともに、早期発見及びまん延防止のため、性感染（梅毒）検査、HTLV-1検査、HIV抗体検査、肝炎ウイルス検査（B型・C型）を実施している。

（1）相談数

（単位：件）

区 分		来所（検査時も含む）	電話	合計	
梅毒	男	197	4	201	
	女	69	1	70	
HIV	男	180	16	196	
	女	65	4	69	
	相談内容延件数（単位：件）		572	32	604
	相談内容	症状について	107	8	115
		検査について	137	12	149
		感染経路	143	5	148
		予防方法	142	4	146
		患者発生状況	13	1	14
その他	30	2	32		
HBV	男	188	4	192	
	女	66	1	67	
HCV	男	181	4	185	
	女	65	1	66	
HTLV-1	男	16	1	17	
	女	8	2	10	

（2）特定感染症検査実施状況

検査日時

毎月第2・4水曜日 13:15～14:15 計22回

即日検査（梅毒、HIV抗体、B型肝炎ウイルス検査、C型肝炎ウイルス検査）

毎月第2水曜日 15:00～15:30 計11回

通常検査（HTLV-1抗体検査）

検査受検者数

（単位：人）

区 分		19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上	合計
梅毒	男	4	29	26	16	26	101
	女	2	12	13	6	2	35
HIV	男	4	29	26	17	25	101
	女	1	12	13	6	2	34
HBV	男	4	28	25	16	25	98
	女	1	11	13	6	2	33
HCV	男	4	29	26	16	25	100
	女	1	12	13	6	2	34
HTLV-1	男	-	-	-	-	2	2
	女	-	-	-	1	-	1

（3）HIV普及啓発事業

HIV・エイズに関する正しい知識の普及を目的に市内の大学や関係機関との連携により啓発活動を行っている。

○HIV検査普及週間関連イベント（令和4年6月1日～6月7日）

学校（17か所）、医療機関（10か所）、関係機関（3か所）でのポスター掲示

すこやか相談所でのポスター掲示と、のぼり設置

○世界エイズデー関連イベント（令和4年11月28日～12月9日）

市内大学、専門学校にて、ポスター掲示、啓発資材（付箋）設置

協力学校数 14校

配布数 780個

私立高校3校、10病院、大津市立図書館、大津市生涯学習センターでのポスター掲示
保健所、すこやか相談所でのポスター掲示と、のぼり設置

（4）滋賀県肝炎ウイルス検査

ウイルス性肝炎のハイリスク者で過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない方を対象として、指定医療機関において肝炎ウイルス検査（B型・C型）を実施している。

受検者数 (単位：人・件)

区分	実人数	検査種別（延べ件数）	
		HBs	HCV
受検者数	-	-	-

（5）肝炎治療特別促進事業申請受付

滋賀県からの委託を受けて、肝炎治療特別促進事業（インターフェロン治療・インターフェロンフリー治療・核酸アナログ製剤治療に係る医療費を助成し、患者の治療へのアクセスを改善することにより、肝硬変・肝がんの予防を図ることを目的とする。）の申請受付を行っている。

申請受付状況 (単位：件)

種別・性別	年齢	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
B型肝炎 インターフェロン治療	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C型肝炎 インターフェロン治療	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インターフェロン治療 計	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
インターフェロンフリー治療	男	-	-	-	3	4	3	1	1	12
	女	1	-	-	-	2	1	3	-	7
	計	1	-	-	3	6	4	4	1	19
核酸アナログ製剤 治療	男	-	1	6	21	37	33	28	4	130
	女	-	1	-	10	20	19	21	2	73
	計	-	2	6	31	57	52	49	6	203
合計	男	-	1	6	24	41	36	29	5	142
	女	1	1	-	10	22	20	24	2	80
	計	1	2	6	34	63	56	53	7	222

(6) 肝炎重症化予防推進事業申請受付

滋賀県からの委託を受けて、ウイルス性肝炎患者等の重症化予防推進事業に係る初回精密検査及び定期精密検査の費用助成の申請受付を行っている。又、申請者には平成 29 年度より定期検査の受診状況や体調等を確認するフォローアップを実施している。

申請受付状況

(単位：件)

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
初回精密検査	7	7	1	1	5
定期検査	3	12	18	19	4

(7) 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業

滋賀県からの委託を受けて、肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業（B型・C型肝炎ウイルスに起因する肝がん又は重度肝硬変により、指定医療機関に3か月以上入院している患者のうち、世帯の所得基準を満たした者に、医療費助成を行い、治療研究を図ることを目的とする。）の申請受付を行っている。

申請受付状況

(単位：件)

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
申請数	-	-	1

(8) 風しん抗体価検査

先天性風しん症候群の予防のため、予防接種が必要である風しん感受性者を効率的に抽出し予防接種の勧奨を行うことを目的に、平成 26 年度より無料で実施している。

風しん抗体検査実施状況（令和 4 年度）

(単位：人)

	19 歳以下	20～29 歳	30～39 歳	40～49 歳	50～59 歳	60 歳以上	合計
男	1	111	174	29	3	2	320
女	0	127	157	17	3	2	306
合計	1	238	331	46	6	4	626

(9) 追加的風しん対策事業（抗体検査）

令和元年度より風しんの予防接種機会の与えられなかった昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日までに生まれた男性を対象に抗体検査を行っている。令和元年度は昭和 47 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性にクーポン券を送付しており、令和 2 年度は昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 47 年 4 月 1 日生まれの男性にクーポン券を送付した。令和 3 年度は、昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性のうち、抗体検査未受験者にクーポン券を送付した。令和 3 年度をもって事業終了予定であったが、令和 4 年度より 3 ヶ年延長となった。令和 4 年度も、昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性のうち、抗体検査未受験者にクーポン券を送付している。

抗体検査実施状況

(単位：人)

年度	対象者	受検者数
令和 2	37,531	7,258
令和 3	30,380	4,223
令和 4	26,584	901

4 予防接種

疾病の予防に有効であることが確認されているワクチンを接種することで、公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的として、予防接種法第5条に基づき各種予防接種を実施している。

平成25年度よりヒブ、小児用肺炎球菌、子宮頸がん予防ワクチンが、平成26年10月より水痘、高齢者肺炎球菌が、平成28年10月よりB型肝炎が、令和2年10月よりロタウイルス感染症が定期予防接種に追加された。また、先天性風しん症候群の予防を目的として、平成25年度より予防接種について費用助成を行っている。

(1) 定期接種予防接種者数

① ポリオ

(単位：件)

年度	I 期初回			I 期追加	合計
	1 回目	2 回目	3 回目		
令和3	-	-	-	1	1
令和4	-	-	-	-	-

② 四種混合（百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオ）

(単位：件)

年度	I 期初回			I 期追加	合計
	1 回目	2 回目	3 回目		
令和3	2,434	2,445	2,420	2,442	9,741
令和4	2,353	2,359	2,376	2,338	9,426

③ 三種混合（百日咳・ジフテリア・破傷風）

(単位：件)

年度	I 期初回			I 期追加	合計
	1 回目	2 回目	3 回目		
令和3	1	1	1	-	3
令和4	-	1	1	2	4

※四種混合ワクチンへの切り替えに伴い、平成26年12月三種混合ワクチンの製造が中止されたが、平成30年1月に製造が再開された。

④ BCG

(単位：件・%)

年度	対象者	接種者	接種率
令和3	2,397	2,408	100.5
令和4	2,371	2,367	99.8

⑤ 日本脳炎

(単位：件)

年度	I 期初回（初回接種）		I 期（追加接種）	II 期（追加接種）	合計
	1 回目	2 回目			
令和3	2,412	2,443	1,144	1,671	7,670
令和4	2,814	2,738	3,751	4,171	13,474

※1. 平成17年5月30日より、平成22年3月末まで、接種勧奨を差し控えた。

※2. 平成22年度より、3歳児の接種勧奨を再開。

※3. 平成23年5月20日より、平成7年6月1日から平成19年4月1日までに生まれた者を特例対象者として、接種年齢が緩和された。

※4. 平成25年度より、平成7年4月2日から平成7年5月31日までに生まれた者も特例対象者に追加された。

⑥ 二種混合（ジフテリア・破傷風）

(単位：件・%)

年度	対象者	接種者	接種率
令和3	3,280	2,883	87.9
令和4	3,248	2,806	86.4

⑦ 麻しん・風しん

(単位：件・%)

年度	第1期			第2期			
	対象者	接種者	接種率	対象者	接種者	接種率	
令和3	2,579	麻風混合	2,385	92.5	3,166	麻風混合	3,016
		麻しん	-			麻しん	1
		風しん	-			風しん	-
令和4	2,525	麻風混合	2,395	94.9	3,025	麻風混合	2,875
		麻しん	1			麻しん	-
		風しん	-			風しん	-

⑧ 水痘

(単位：件)

年度	1回目	2回目	合計
令和3	2,411	2,342	4,753
令和4	2,412	2,286	4,698

⑨ ヒブ

(単位：件)

年度	初回接種者			I期追加	合計
	1回目	2回目	3回目		
令和3	2,460	2,443	2,440	2,415	9,758
令和4	2,332	2,339	2,356	2,425	9,452

⑩ 小児用肺炎球菌

(単位：件)

年度	初回接種者			I期追加	合計
	1回目	2回目	3回目		
令和3	2,461	2,446	2,438	2,408	9,753
令和4	2,333	2,342	2,360	2,407	9,442

⑪ HPV

(単位：件)

年度	接種者			合計
	1回目	2回目	3回目	
令和3	1,081	961	737	2,779
令和4	1,721	1,662	1,279	4,662

※平成25年6月から接種勧奨を差し控えた。

※令和3年11月から接種勧奨を再開した。

※令和4年4月からキャッチアップ接種を開始した。

⑫ B型肝炎

(単位：件・%)

年度	対象者	接種者			接種率		
		1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目
令和3	2,397	2,454	2,442	2,330	102.4	101.9	97.2
令和4	2,371	2,330	2,340	2,306	98.3	98.7	97.3

※平成28年10月から定期接種化された。

⑬ ロタウイルス感染症

(単位：件)

年度	対象者	ワクチン	接種者			合計
			1回目	2回目	3回目	
令和3	2,397	1価	1,217	1,223		2,440
		5価	1,210	1,182	1,170	3,562
令和4	2,371	1価	1,108	1,111		2,219
		5価	1,187	1,193	1,183	3,563

※令和2年10月から定期接種化された。

※ワクチンが2種類(1価・5価)あり、1価は2回接種、5価は3回接種。

⑭ 高齢者インフルエンザ

(単位：件・%)

年度	対象者	接種者	接種率
令和3	93,023	52,085	56.0
令和4	94,016	54,510	58.0

⑮ 高齢者肺炎球菌

(単位：件・%)

年度	対象者	接種者	接種率
令和3	10,766	3,162	29.4
令和4	11,516	2,953	25.6

※平成26年10月から定期接種化された。令和5年度までは、経過措置として、各年度内に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳（令和元年度については100歳以上）となる者を対象として実施することとしている。

(接種率の記載について)

※ポリオ、三種混合：四種混合へ移行しているため、記載していない。

※四種混合、日本脳炎、水痘：接種回数が複数回であり、接種時期が複数年度に渡ることから、当該年度における接種対象者の抽出が困難であり、記載していない。

※ヒブ、小児用肺炎球菌：接種開始時期によって接種回数が異なるため、記載していない。

※ロタ：接種するワクチンによって接種回数が異なるため、記載していない。

(2) 風しん任意予防接種費用助成

年度	助成件数
令和3	242
令和4	252

※平成25年より、全国的に風しんが流行したため、風しん抗体価が低い妊娠希望の女性等に費用助成を実施している。

(3) 追加的風しん対策事業（第5期の定期接種）

令和元年度より追加的風しん対策事業（抗体検査）の検査結果にて、十分な量の抗体があることが判明した者を除いて、風しんの第5期の定期接種を行っている。令和3年度をもって事業終了予定であったが、令和4年度より3ヵ年延長となった。

予防接種実施状況

(単位：人)

年度	対象者	接種者
令和2	1,832	1,476
令和3	1,022	834
令和4	207	176

(4) 新型コロナウイルスワクチン接種 (単位：人・%)

新型コロナウイルス感染症については、その発生以来、多くの患者が発生し、健康を損なうとともに、医療提供体制に大きな負荷を及ぼしているほか、国民全体が感染防止対策の徹底を求められるなど、国民生活に大きな影響を与えている。

こうした中、新型コロナウイルス感染症のまん延予防上、緊急の必要があるため、予防接種法附則第7条第1項の規定に基づき、令和3年4月より新型コロナウイルスワクチン接種を実施している。一般（12歳以上）の接種率（R5.4.1時点）

1回目		2回目		3回目		4回目		5回目	
接種者	接種率	接種者	接種率	接種者	接種率	接種者	接種率	接種者	接種率
275,067	88.5	273,543	88.0	228,008	73.4	148,985	47.9	80,152	25.8

小児（5～11歳）の接種率（R5.4.1時点）※令和4年3月より接種開始

1回目		2回目		3回目	
接種者	接種率	接種者	接種率	接種者	接種率
3,595	16.2	3,424	15.5	1,289	5.8

乳幼児（6か月～4歳）の接種率（R5.4.1時点）※令和4年10月より接種開始

1回目		2回目		3回目	
接種者	接種率	接種者	接種率	接種者	接種率
251	1.9	219	1.6	132	1.0

5 特定医療費（指定難病）

当該事業は、滋賀県が主体として実施する特定医療費（指定難病）支給認定事業であり、これにかかる受給者証の申請受付事務を県からの委託により本市が実施している。

平成 27 年 1 月に「難病の患者に対する医療等に関する法律」が施行され、従来の特定疾患の多くが当該事業に移行されたところである。令和 4 年度より、更新申請受付事務は滋賀県が担うこととなった。

（１）特定医療費（特定疾患含む）医療受給者証申請受付数

（単位：件）

新規申請数	更新申請数
557	令和 4 年度より更新受付事務は滋賀県。

（２）特定医療費（指定難病）医療受給者証交付件数（令和 5 年 3 月 31 日現在）

（単位：件）

番号	病名	交付者数
1	球脊髄性筋萎縮症	4
2	筋萎縮性側索硬化症	31
3	脊髄性筋萎縮症	4
4	原発性側索硬化症	1
5	進行性核上性麻痺	50
6	パーキンソン病	509
7	大脳皮質基底核変性症	15
8	ハンチントン病	6
9	神経有棘赤血球症	-
10	シャルコー・マリー・トゥース病	6
11	重症筋無力症	85
12	先天性筋無力症候群	-
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	63
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	16
15	封入体筋炎	3
16	クロウ・深瀬症候群	1
17	多系統萎縮症	38
18	脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を除く。）	61
19	ライソゾーム病	1
20	副腎白質ジストロフィー	1
21	ミトコンドリア病	3
22	もやもや病	46
23	プリオン病	1
24	亜急性硬化性全脳炎	-
25	進行性多巣性白質脳症	3
26	HTLV-1 関連脊髄症	1
27	特発性基底核石灰化症	-
28	全身性アミロイドーシス	18
29	ウルリッヒ病	-
30	遠位型ミオパチー	-
31	ベスレムミオパチー	-
32	自己食空胞性ミオパチー	-

（単位：件）

番号	病名	交付者数
33	シュワルツ・ヤンペル症候群	-
34	神経線維腫症	9
35	天疱瘡	7
36	表皮水疱症	-
37	膿疱性乾癬（汎発型）	8
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1
39	中毒性表皮壊死症	-
40	高安動脈炎	8
41	巨細胞性動脈炎	12
42	結節性多発動脈炎	7
43	顕微鏡的多発血管炎	26
44	多発血管炎性肉芽腫症	7
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	28
46	悪性関節リウマチ	15
47	バージャー病	1
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	3
49	全身性エリテマトーデス	162
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	64
51	全身性強皮症	43
52	混合性結合組織病	20
53	シェーグレン症候群	35
54	成人スチル病	12
55	再発性多発軟骨炎	5
56	ベーチェット病	36
57	特発性拡張型心筋症	72
58	肥大型心筋症	10
59	拘束型心筋症	-
60	再生不良性貧血	30
61	自己免疫性溶血性貧血	5
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	5
63	特発性血小板減少性紫斑病	61
64	血栓性血小板減少性紫斑病	1

(単位：件)

番号	病名	交付者数
65	原発性免疫不全症候群	4
66	IgA 腎症	58
67	多発性嚢胞腎	65
68	黄色靭帯骨化症	11
69	後縦靭帯骨化症	64
70	広範脊柱管狭窄症	25
71	特発性大腿骨頭壊死症	69
72	下垂体性 ADH 分泌異常症	18
73	下垂体性 TSH 分泌亢進症	2
74	下垂体性 PRL 分泌亢進症	4
75	クッシング病	6
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	-
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	11
78	下垂体前葉機能低下症	61
79	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	3
80	甲状腺ホルモン不応症	1
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	3
82	先天性副腎低形成症	-
83	アジソン病	-
84	サルコイドーシス	38
85	特発性間質性肺炎	39
86	肺動脈性肺高血圧症	21
87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	-
88	慢性血栓性肺高血圧症	13
89	リンパ脈管筋腫症	2
90	網膜色素変性症	50
91	パッド・キアリ症候群	3
92	特発性門脈圧亢進症	-
93	原発性胆汁性肝硬変	43
94	原発性硬化性胆管炎	2
95	自己免疫性肝炎	24
96	クローン病	138
97	潰瘍性大腸炎	456
98	好酸球性消化管疾患	6
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	-
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	-
101	腸管神経節細胞僅少症	-
102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	-
103	CFC 症候群	-
104	コステロ症候群	-
105	チャージ症候群	-
106	クリオピリン関連周期熱症候群	1

(単位：件)

番号	病名	交付者数
107	若年性特発性関節炎	2
108	TNF 受容体関連周期性症候群	-
109	非典型溶血性尿毒症症候群	-
110	ブラウ症候群	-
111	先天性ミオパチー	1
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	-
113	筋ジストロフィー	16
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	-
115	遺伝性周期性四肢麻痺	2
116	アトピー性脊髄炎	-
117	脊髄空洞症	2
118	脊髄髄膜瘤	1
119	アイザックス症候群	-
120	遺伝性ジストニア	-
121	神経フェリチン症	-
122	脳表ヘモジデリン沈着症	-
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	-
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	-
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	-
126	ペリー症候群	-
127	前頭側頭葉変性症	4
128	ビッカースタッフ脳幹脳炎	-
129	痙攣重積型（二相性）急性脳症	-
130	先天性無痛無汗症	-
131	アレキサンダー病	-
132	先天性核上性球麻痺	-
133	メビウス症候群	-
134	中隔視神経形成異常症／ドモルシア症候群	-
135	アイカルディ症候群	-
136	片側巨脳症	-
137	限局性皮質異形成	-
138	神経細胞移動異常症	-
139	先天性大脳白質形成不全症	2
140	ドラベ症候群	-
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	-
142	ミオクロニー欠伸てんかん	-
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	-
144	レノックス・ガストー症候群	-
145	ウエスト症候群	-
146	大田原症候群	1
147	早期ミオクロニー脳症	-
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	-

(単位：件)

番号	病名	交付者数
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	-
150	環状 20 番染色体症候群	-
151	ラスムッセン脳炎	-
152	P C D H19 関連症候群	-
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	-
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	-
155	ランドウ・クレフナー症候群	-
156	レット症候群	-
157	スタージ・ウェーバー症候群	-
158	結節性硬化症	5
159	色素性乾皮症	-
160	先天性魚鱗癬	-
161	家族性良性慢性天疱瘡	-
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	24
163	特発性後天性全身性無汗症	2
164	眼皮膚白皮症	-
165	肥厚性皮膚骨膜炎	1
166	弾性線維性仮性黄色腫	-
167	マルファン症候群	1
168	エーラス・ダンロス症候群	1
169	メンケス病	-
170	オクシピタル・ホーン症候群	-
171	ウィルソン病	2
172	低ホスファターゼ症	-
173	VATER 症候群	-
174	那須・ハコラ病	-
175	ウィーバー症候群	-
176	コフィン・ローリー症候群	-
177	ジュベール症候群関連疾患	1
178	モワット・ウィルソン症候群	-
179	ウィリアムズ症候群	-
180	A T R-X 症候群	-
181	クルーゾン症候群	-
182	アペール症候群	-
183	ファイファー症候群	-
184	アントレー・ピクスラー症候群	-
185	コフィン・シリス症候群	-
186	ロスムンド・トムソン症候群	-
187	歌舞伎症候群	-
188	多脾症候群	1
189	無脾症候群	-
190	鰓耳腎症候群	-

(単位：件)

番号	病名	交付者数
191	ウェルナー症候群	-
192	コケイン症候群	-
193	ブラダー・ウィリ症候群	-
194	ソトス症候群	-
195	ヌーナン症候群	-
196	ヤング・シンプソン症候群	-
197	1 p36 欠失症候群	-
198	4 p 欠失症候群	-
199	5 p 欠失症候群	-
200	第 14 番染色体父親性ダイソミー症候群	-
201	アンジェルマン症候群	1
202	スミス・マギニス症候群	-
203	22q11.2 欠失症候群	-
204	エマヌエル症候群	-
205	脆弱 X 症候群関連疾患	-
206	脆弱 X 症候群	-
207	総動脈幹遺残症	-
208	修正大血管転位症	1
209	完全大血管転位症	1
210	単心室症	-
211	左心低形成症候群	-
212	三尖弁閉鎖症	1
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	-
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	-
215	ファロー四徴症	2
216	両大血管右室起始症	-
217	エプスタイン病	-
218	アルポート症候群	1
219	ギャロウェイ・モワト症候群	-
220	急速進行性糸球体腎炎	8
221	抗糸球体基底膜腎炎	1
222	一次性ネフローゼ症候群	44
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	2
224	紫斑病性腎炎	-
225	先天性腎性尿崩症	-
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	4
227	オスラー病	3
228	閉塞性細気管支炎	1
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	-
230	肺胞低換気症候群	-
231	α 1-アンチトリプシン欠乏症	-
232	カーニー複合	-

(単位：件)

番号	病名	交付者数
233	ウォルフラム症候群	-
234	ペルオキシソーム病（副腎白質ジストロフィーを除く。）	-
235	副甲状腺機能低下症	2
236	偽性副甲状腺機能低下症	-
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	-
238	ビタミンD抵抗性くる病／骨軟化症	5
239	ビタミンD依存性くる病／骨軟化症	-
240	フェニルケトン尿症	-
241	高チロシン血症 1 型	-
242	高チロシン血症 2 型	-
243	高チロシン血症 3 型	-
244	メーブルシロップ尿症	-
245	プロピオン酸血症	-
246	メチルマロン酸血症	-
247	イソ吉草酸血症	-
248	グルコーストランスポーター1 欠損症	1
249	グルタル酸血症 1 型	-
250	グルタル酸血症 2 型	-
251	尿素サイクル異常症	1
252	リジン尿性蛋白不耐症	-
253	先天性葉酸吸収不全	-
254	ポルフィリン症	-
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	-
256	筋型糖原病	-
257	肝型糖原病	1
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	-
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	-
260	シトステロール血症	-
261	タンジール病	-
262	原発性高カイロミクロン血症	-
263	脳腱黄色腫症	-
264	無βリポタンパク血症	-
265	脂肪萎縮症	-
266	家族性地中海熱	-
267	高IgD症候群	-
268	中條・西村症候群	-
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	-
270	慢性再発性多発性骨髄炎	1
271	強直性脊椎炎	7
272	進行性骨化性線維異形成症	-

(単位：件)

番号	病名	交付者数
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	-
274	骨形成不全症	-
275	タナトフォリック骨異形成症	-
276	軟骨無形成症	1
277	リンパ管腫症／ゴーム病	-
278	巨大リンパ管奇形（頸部顔面病変）	-
279	巨大静脈奇形（頸部口腔咽頭びまん性病変）	-
280	巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）	-
281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	2
282	先天性赤血球形成異常性貧血	-
283	後天性赤芽球癆	1
284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	-
285	ファンコニ貧血	-
286	遺伝性鉄芽球性貧血	-
287	エプスタイン症候群	-
288	自己免疫性出血病 XIII	1
289	クロンカイト・カナダ症候群	-
290	非特異性多発性小腸潰瘍症	1
291	ヒルシュスブルグ病（全結腸型又は小腸型）	-
292	総排泄腔外反症	-
293	総排泄腔遺残	-
294	先天性横隔膜ヘルニア	-
295	乳幼児肝巨大血管腫	-
296	胆道閉鎖症	1
297	アラジール症候群	-
298	遺伝性膵炎	-
299	嚢胞性線維症	-
300	I g G 4 関連疾患	13
301	黄斑ジストロフィー	-
302	レーベル遺伝性視神経症	-
303	アッシャー症候群	-
304	若年発症型両側性感音難聴	-
305	遅発性内リンパ水腫	-
306	好酸球性副鼻腔炎	139
307	カナバン病	-
308	進行性白質脳症	-
309	進行性ミオクローヌステんかん	-
310	先天異常症候群	-
311	先天性三尖弁狭窄症	-
312	先天性僧帽弁狭窄症	-

(単位：件)

番号	病名	交付者数
313	先天性肺静脈狭窄症	-
314	左肺動脈右肺動脈起始症	-
315	ネイルパテラ症候群（爪膝骨症候群）／LMX1B関連腎症	-
316	カルニチン回路異常症	-
317	三頭酵素欠損症	-
318	シトリン欠乏症	-
319	セピアプリテン還元酵素(SR)欠損症	-
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	-
321	非ケトーシス型高グリシン血症	-
322	β -ケトチオラーゼ欠損症	-
323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	-
324	メチルグルタコン酸尿症	-
325	遺伝性自己炎症疾患	-
合 計		-

(単位：件)

番号	病名	交付者数
326	大理石骨病	-
327	特発性血栓症(遺伝性素因によるものに限る。)	1
328	前眼部形成異常	-
329	無虹彩症	-
330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症	-
331	特発性多中心性キャッスルマン病	6
332	膠様滴状角膜ジストロフィー	-
333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	-
334	脳クレアチン欠乏症候群	-
335	ネフロン癆	-
336	家族性低 β リポタンパク血症1(ホモ接合体)	-
337	ホモシスチン尿症	-
338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	-
合 計		3,224

(3) 特定疾患医療受給者証交付件数 (令和5年3月31日現在)

(単位：件)

番号	病名	交付者数
5	スモン	2
18	難治性肝炎のうち劇症肝炎	-
32	重症急性膵炎	-
54	重症多形滲出性紅斑	-
合 計		2

6 難病支援

難病支援対策推進事業

当該事業は、国の難病特別対策推進事業実施要綱に基づき、難病患者等に対し、総合的な相談・支援や在宅療養上の適切な支援を行うことにより安定した療養生活の確保と難病患者及びその家族の生活の質(QOL)の向上に資することを目的として実施している。

(1) 特定医療費（指定難病）申請時面接相談 (単位：件)

新規申請者数	新規申請時面接相談	更新申請者数	更新申請時面接相談
535	9	2,616	-

(2) 難病患者訪問指導及び面接相談 (単位：件)

	訪問指導		面接相談	
	実人数（人）	延べ件数(件)	実人数（人）	延べ件数（件）
筋萎縮性側索硬化症	9	24	3	3
その他の難病	18	27	7	9
計	27	51	10	12

(3) 医療講演会及び相談会

① 医療講演会（草津保健所と合同開催）

開催日・場所	大津管内参加人員	内 容
令和4年11月28日	患者7名 家族3名 従事者4名 計14名	皮膚筋炎・多発性筋炎の病気の理解と日常生活の注意点 講師：滋賀医科大学医学部附属病院 藤本 徳毅 医師

② パーキンソン病医療講演会・従事者研修会

開催日・場所	参加人員	内 容
令和4年11月9日 大津市役所 別館 大会議室	当事者 23人 家族 20人 従事者 39名 計 82名	講演：パーキンソン病の理解と日常生活 講師：さくらいクリニック 櫻井 健世 医師

(4) 難病従事者研修会

① 難病在宅支援従事者研修会

開催日・場所	参加人員	内 容
令和5年2月15日 Web開催	45名	講演①：指定難病の申請方法 講師：保健予防課 土井 卓也 講演②：在宅重症難病患者一時入院事業 講師：保健予防課 住田 亜由美 講演③：介護福祉士による喀痰吸引制度 講師：保健予防課 平田 浩二

② 難病患者災害対策従事者研修会

開催日・場所	参加人員	内 容
令和5年1月19日 WEB開催	介護支援専門員 33人 訪問介護員等 2人 看護師 2人 保健師 2人 難病対策災害支援部会 16人 計 55人	講演：各企業の災害に対する取り組み 講師：(株) Kist、(株) フィリップス・ジャパン S&R フクダライフテック京滋株式会社

(5) ケース検討会

筋萎縮性側索硬化症等の神経難病を中心に、多機関でチーム支援を必要とするケースに対して関わる地域スタッフとともに支援方法について検討した。年13回実施（ALS 9回、その他難病 4回）実10人（ALS 7人、その他難病 3人）

(6) ケアマネジメント・アドバイザー事業

関係スタッフだけでは解決困難なケースの処遇等を検討する場を設け、より適切で円滑な療養支援を図ると共に患者・家族のQOLの向上を図るために難病患者におけるケアマネジメント・アドバイザー事業を開催している。

(7) 在宅療養支援体制の整備に関する事業

難病対策地域協議会

開催日・場所	出席者	内 容
【災害支援部会】 令和5年1月19日 WEB開催	医療福祉関係機関 (委員16名参加)	・大津市保健所圏域における難病患者の災害支援対策について ・個別避難計画について ・難病患者の災害時支援対策について ・難病患者の個別避難計画作成のながれ ・災害の備え、対策についての意見交換
【難病対策地域協議会】 令和5年3月2日	重症難病医療拠点・協力病院等関係機関 (委員24人のうち22人参加)	・指定難病の申請状況について ・難病患者地域支援事業について ・難病患者の相談・療養状況について ・難病対策地域協議会災害支援部会の報告 ・難病対策についての意見交換

(8) 各種関係団体への支援

① 全国パーキンソン病友の会滋賀県支部活動支援

パーキンソン病医療講演会の後に、友の会主催の交流会を実施した。

② ケアクラフト002（自助具工房）活動支援

パーキンソン病医療講演会の場で、自助具の展示や紹介の機会を設けた。保健所内では継続して展示場所を提供している。

7 精神保健

(1) 精神保健福祉対策

保健所は、地域精神保健福祉活動の第一線機関として、精神障害者の早期治療や社会復帰を支援するため、専門医・心理士・保健師による相談・訪問指導、関係機関との定例事例検討会の開催、精神障害者の家族教室等の事業を行っている。

① 精神障害者保健福祉手帳の申請交付状況 (単位：件)

区分	1級	2級	3級
18歳以上	248	2,235	855
18歳未満	4	36	21
小計	252	2,271	876
合計	3,399		

年次推移 (単位：件)

等級	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
1級	174	205	219	231	222	252
2級	1,624	1,854	1,842	1,935	2,063	2,271
3級	581	703	740	786	811	876
計	2,379	2,762	2,801	2,952	3,096	3,399

② 通院医療費公費負担状況 (単位：延べ件数)

区分	計		20歳未満		20～29歳		30～39歳	
	男	女	男	女	男	女	男	女
大津市	2,785	3,322	156	122	334	399	444	518
	6,107		278		733		962	

区分	40～49歳		50～59歳		60～64歳		65歳以上	
	男	女	男	女	男	女	男	女
大津市	609	736	664	765	208	243	370	549
	1,345		1,429		451		919	

(2) 精神保健福祉相談、訪問等

精神疾患や精神障害を持つ人及び家族に対して、正しい知識を提供するとともに、本人及び家族が早期に適切な対処ができるよう支援することを目的として、専門医や保健師による相談を実施している。

(単位：件)

区分	相談、デイケア、訪問指導				相談(再掲)											
	実人員	新規者の受付経路			実人員	延 人 員										
		市町	医療機関	その他		高齢者	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健康	一般	その他	計
男	333	12	9	3	220	7	3	14	2	-	-	21	42	325	90	504
女	371	15	13	4	250	21	-	5	-	-	-	45	70	219	19	379
計	704	27	22	7	470	28	3	19	2	-	-	66	112	544	109	883

区分	デイケア(再掲)		訪問指導(再掲)												電話相談(含メール)延人員
	実人員	延人員	実人員	延 人 員											
				高齢者	社会復帰	アルコール	薬物	ギャンブル	ゲーム	思春期	心の健康	一般	その他	計	
男			160	33	2	10	1	-	-	30	98	205	42	421	
女			170	14	-	2	-	-	-	30	71	81	30	228	
計			330	47	2	12	1	-	-	60	169	286	72	649	5,737

① 一般精神保健福祉相談(医師によるもので、高齢者を含む)

実施状況 20回 31件

A. 本人の年齢別、相談者の内訳(重複あり)

(単位：人)

区分	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	不詳	合計
本人	-	-	2	-	2	3	-	7
家族	-	4	2	6	13	7	-	32
保健師、福祉	-	-	-	-	1	3	-	4
その他	-	-	2	-	4	5	-	11
合計	-	4	6	6	20	18	-	54

B. 相談者別、本人の受療状況

(単位：人)

区分	未受診	受療中	治療中断	合計
本人	6	-	-	6
家族	22	-	1	23
保健師、福祉	-	-	-	-
その他	1	-	1	2
合計	29	-	2	31

C. 本人の年齢別、診断名の内訳 (重複あり)

(単位：人)

区分	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	不詳	合計
統合失調症	-	2	-	2	5	-	-	9
神経症	-	-	-	-	-	-	-	-
アルコール依存症疑	-	-	2	1	1	-	-	4
高齢者精神病	-	-	-	-	-	1	-	1
パーソナリティ障害	-	-	-	-	3	1	-	4
妄想性障害	-	-	-	-	1	2	-	3
気分障害	-	-	1	-	-	-	-	1
心因反応	-	-	-	-	-	-	-	-
非定型精神病	-	-	-	-	-	-	-	-
認知症	-	-	-	-	-	4	-	4
発達障害	-	-	-	1	2	1	-	4
その他	-	1	1	-	4	1	-	7
合計	-	3	4	4	16	10	-	37

D. 相談医の指示の内訳

項目	件数
要医療、受診指導	29
主治医に相談	-
対応指導	2
その他	-
合計	31

② 思春期精神保健福祉相談 (医師によるもの)

実施状況 12回 16件

A. 本人の年齢別、相談者の内訳 (重複あり)

(単位：人)

区分	～19歳	20～29歳	30～39歳	40歳～	計
本人	-	2	3	1	6
家族	3	1	7	7	18
保健師、福祉	-	-	2	-	2
その他	1	-	1	2	4
計	4	3	13	10	30

B. 相談者別、本人の受療状況

(単位：人)

区分	未受診	治療中	治療中断	合計
本人	6	-	-	6
家族	8	-	1	9
保健師、福祉	1	-	-	1
その他	-	-	-	-
計	15	-	1	16

C. 相談内容の内訳

項目	件数
ひきこもり	12
未就労	-
不登校・進路	-
暴力	-
強迫症状	1
パニック	-
その他	3
計	16

D. 相談医の指示の内容 (重複あり)

項目	件数
要医療、受診指導	7
主治医に相談	-
対応指導	10
その他	1
合計	18

E. 本人の年齢別、診断名の内訳(重複あり)

(単位：人)

年齢	～19歳	20～29歳	30～39歳	40歳～	計
統合失調症疑	-	-	1	3	4
社会的ひきこもり	-	-	-	-	-
広汎性発達障害疑	1	2	6	2	11
強迫性障害	1	-	-	-	1
摂食障害	-	-	-	-	-
うつ状態	-	-	1	-	1
パーソナリティー障害	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	1	1
計	2	2	8	6	18

③ ひきこもり心理相談

ひきこもりがちになっている状態で悩んでいる本人及びその家族で、保健所の思春期精神保健福祉相談で継続的な心理ケアが望ましいと判断した方に対して、月 1～2 回、定例で臨床心理士による面接を実施している。

実施状況 17回 延べ28件 実人数4人

④ 精神保健福祉に関する早期介入・支援事業（令和4年度より実施）

目的 医療機関や各種相談機関から相談があった未受診、医療中断等の精神障害を抱える者や精神障害の疑いのある者に、支援チームが介入し継続的にかかわることで、適切な医療やサービスにつなぎ、地域の一員として安心して暮らせるようにする。

実施状況 事務局会議 12回（うち4回は県精神保健福祉センター技術協力）

運営会議 2回（関係機関が参加）

訪問支援 支援対象者数：17人

支援回数：1,140回 ※必要時、精神保健福祉相談医師と同行訪問

（面接：50、訪問：229、電話相談：151、関係機関連絡：532、ケース会議：103）

⑤ 定例ケース検討会開催状況

目的 精神障害者への個別支援を行うに際して処遇困難ケースや多問題を抱えるケースの検討を行い支援者が対応の方向性を明らかにする機会とする。

開催状況 5回

助言者 精神保健福祉センター 地区担当医 精神保健福祉士 臨床心理士 保健師

(単位：件)

開催回数		5
検討延べ件数		6
相談経路	保健所の保健師	1
	健康推進課・すこやか相談所の保健師	-
	長寿政策課・あんしん長寿相談所のスタッフ	3
	学校の教師	-
	児童相談所・子ども家庭相談室の相談員	1
	障害者相談支援事業所の相談員	-
	障害福祉課	-
	病院スタッフ	-
	居宅介護支援専門員	-
	権利擁護サポートセンター	-
	その他	1
事例の対象	一般	2
	アルコール	1
	思春期	2
	薬物依存	-
	発達障害	1
	パーソナリティー障害	-
その他	-	

(3) 家族教室、家族交流会事業（平成 28 年度から家族教室・家族交流会を合同で実施）

① 家族教室・家族交流会

- 目 的** 病気に対する正しい知識を習得し、家族への接し方や関わり方を学ぶ
精神障害者をかかえる家族間で相互交流を深め家族の孤立を防ぐことで、家族が
ゆとりをもって暮らすことができ、主体的に活動への参加ができる。
- 対 象** 統合失調症の患者の家族で主治医に了承がとれ、継続して参加できる家族
平成 26 年度までに「家族教室」へ参加した精神障害者を抱える家族（85 家族）

区 分	日 時	参加者数	内 容	スタッフ
第 1 回	令和 4 年 11 月 1 日 14:00～16:00	22 人 (18 家族)	講話：「生活保護の制度を学ぶ」 講師：大津市役所 福祉部 生活福祉課 居松 宏明 係長 家族交流会・意見交換	保健予防課 障害福祉課 オアシスの郷
第 2 回	令和 5 年 3 月 13 日 14:00～16:00	14 人 (13 家族)	講話：「成年後見制度を学ぶ」 講師：大津市権利擁護サポートセンター 中原 一隆 センター長 家族交流会・意見交換	

② ひきこもり家族交流会

- 目 的** ひきこもりケースの家族を対象に学習会及び家族交流を通じて
・ひきこもり状態の理解をする。
・日頃の対応を見直せるよう支援する。
- 対 象** 思春期精神保健相談を利用し、医師の判定で精神疾患・障害が否定された 15 歳以上
のひきこもりケースの家族。(37 家族)

区 分	日 時	参加者数	内 容	スタッフ
第 1 回	令和 4 年 11 月 29 日 14:00～16:00	12 人 (10 家族)	講話：『「サボステ」ってどんなところ？』 講師：滋賀県地域若者サポートステーション 大津常設サテライト 相談支援員：池田 多喜子氏 草川 香氏 講話：『「こども若者相談窓口」ってどんなところ？』 講師：大津社会福祉協議会 子ども若者相談総合窓口 相談員：橋 宏樹氏 家族交流・意見交換	保健 予防課 やすらぎ の職員

(4) 従事者研修会

① 大津市自殺対策研修会

- 日 時** 令和 5 年 2 月 14 日 15:30～17:00
- 方 法** オンライン会議システム Webex
- 講 演** 子どもや若者の自殺対策について
～子どもと教師の心を守るために～
- 講 師** 一般社団法人 高橋聡美研究室 高橋聡美看護師
- 参 加 者** 56 人

② 精神保健従事者研修会

※コロナウイルス感染症流行のため開催中止

(5) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく申請、通報、鑑定状況

本法に基づく警察機関等からの通報等においては、精神障害者又はその疑いがある者について、
ただちに入院をさせなければ精神障害のために自身を傷つけ、又は他人を害するおそれがある場合、

その者を指定医の診察を受けさせなければならないことから、当該通報等があった場合、本市は滋賀県への経由事務を行っている。

① 申請・通知状況

(単位：件)

区分		大津市	市外	計
性別	男	49	-	49
	女	49	-	49
	計	98	-	98
申請・通知状況	家族	1	-	1
	本人	-	-	-
	住民・職場	-	-	-
	保健福祉医療関係者	2	-	2
	救急隊	-	-	-
	警察	76	-	76
	検察官	5	-	5
	矯正施設の長	14	-	14
	知事	-	-	-
	計	98	-	98

② 調査状況

(単位：件)

区分	申請			通報			計
	22条	23条	24条	25条	26条	26条の2	
実件数	3	75	5	-	15	-	98
調査件数	3	75	5	-	15	-	98
診察件数 (27条)	3	61	2	-	-	-	66
緊急措置入院数 (29条の2)	1	46	-	-	-	-	47

③ 診察状況

(単位：件)

区分	大津市	市外	計
要措置	43	-	43
措置不要	23	-	23
計	66	-	66

(6) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく措置入院の年次推移及び状況

① 年次推移

(単位：件)

年度	平成 28	29	30	令和元	2	3	4
滋賀県	59	72	82	93	70	88	94
大津市	26	24	23	27	25	35	43

② 入院状況

(単位：件)

区分	令和3年度末	本年度中増減		令和4年度末
		措置命令	措置解除	
男	5	18	17	1
女	2	25	23	2

(7) 医療保護入院の入院届、退院届、定期病状報告

(単位：件)

年度	平成 28	29	30	令和元	2	3	4
入院届	429	505	542	468	508	477	535
退院届	430	508	534	465	492	509	525
定期病状報告	228	248	248	225	233	213	206

(8) 自殺対策

本市へ保健所業務が移譲される前の滋賀県大津保健所において、平成 18 年度から 20 年度まで、自殺予防対策の一環として、3 年計画でうつ予防対策事業の取組が行われた。

平成 21 年度からは地域自殺対策緊急強化基金補助金、平成 27 年度からは地域自殺対策強化交付金を活用し、自殺対策に取り組んでおり、令和 4 年度は下記の事業に取り組んだ。

事業名	内 容
相談機関ネットワーク体制構築	<ul style="list-style-type: none"> ・大津市自殺対策連絡協議会 令和 4 年 12 月 22 日 ふれあいプラザ 視聴覚室 (オンライン併用) ・大津市自殺対策庁内連絡会 令和 4 年 7 月 12 日 市民文化会館 会議室
大津市「いのちをつなぐ相談員」派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> ・協力病院を受診した自殺未遂者への「いのちをつなぐ相談員」による支援 協力病院：大津赤十字病院、市立大津市民病院、滋賀医科大学医学部附属病院、JCHO 滋賀病院、琵琶湖大橋病院、大津赤十字志賀病院 支援対象者：入院患者、外来初診・通院患者 支援対象者数：233 人 (今年度新規 29 人) 支援回数：3,076 回 (面接：158、訪問 112、電話相談 919、関係機関連絡 954 ケース会議 65、その他 868) ・大津市「いのちをつなぐ相談員」派遣事業医療連携会議 新型コロナウイルス感染拡大の影響で未実施 ・保健予防課内での支援検討会：2 回 ・県精神保健福祉センターと保健所との支援検討会：5 回 ・協力病院での連絡会：4 回 (市立大津市民病院：2/2、滋賀医科大学医学部附属病院：3/9、JCHO 滋賀病院：3/9、大津赤十字病院：3/23)
人 材 養 成 事 業	<ul style="list-style-type: none"> ・大津市自殺対策研修会 (令和 5 年 2 月 14 日) 参加者数：56 人 子どもや若者の自殺対策について～子どもと教師の心を守るために～ 方法：オンライン会議システム Webex 講師：一般社団法人 高橋聡美研究室 高橋聡美
普 及 啓 発 事 業	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺対策強化月間 (令和 5 年 3 月 1 日～31 日) ハローワーク、子ども家庭相談室、子ども家庭課、男女共同参画センター、保健予防課、図書館、大津市社会福祉協議会、大津市消防局で啓発マスク、緊急連絡先が記載された名刺カードを配布 (図書館では関連書籍コーナーも設置) ・自殺対策週間街頭啓発 新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止 ・おおつ健康フェスティバルでの啓発 新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止 ・出前講座 「こころの健康づくり」 令和 4 年 10 月 28 日 対象：NPO 法人職員 参加者数：13 人 令和 4 年 11 月 16 日 対象：地域住民 参加者数：8 人

8 健康被害

(1) 原子爆弾被爆者状況

「原子爆弾被害者に対する援護に関する法律」に基づく医療費の給付、各種手当の支給に関する申請窓口事務、健康診断、被爆二世に対する健診案内、訪問介護費用の公費負担申請窓口事務を実施している。

① 被爆者健康手帳交付状況・各種手当受給者状況 (令和5年3月31日現在)

(単位:件)

	件数
被爆者健康手帳交付者数	91
健康診断受診者証交付者数	7
医療特別手当受給者数	3
特別手当受給者数	4
原子爆弾小頭症手当受給者数	-
健康管理手当受給者数	60
保健手当受給者数	7
保健手当(増額分)	-
介護手当受給者数	-

② 被爆者健康手帳所持者数年次別推移

(単位:件)

年度	平成26	27	28	29	30	令和元	2	3	4
大津市	159	141	136	128	122	118	108	98	91
滋賀県	373	348	330	311	291	276	256	240	226

(2) 原子爆弾被爆者定期健康診断実施状況 (単位:人)

	1回目	2回目	3回目
対象者数	101	99	98
受診者数	10	6	8
受診率	9.9%	6.1%	8.2%
要精検者数	2	1	1

(3) 原子爆弾被爆者がん健康診断実施状況年次別推移

(単位:人)

年度	平成26	27	28	29	30	令和元	2	3	4
対象者数	165	154	140	137	127	122	111	102	94
受診者数	27	24	19	18	7	17	9	14	15
要精検者数	13	11	3	3	-	3	3	3	4

(4) 原子爆弾被爆者二世健康診断実施状況年次別推移

(単位:人)

年度	平成26	27	28	29	30	令和元	2	3	4
対象者数	87	83	94	110	125	133	131	125	127
申込者数	32	37	45	55	54	55	60	54	50

(5) アスベスト対策事業

アスベスト(石綿)による健康被害を受けられた方、又は、その遺族の方で、労働災害の対象とならない方に対して支給される救済給付の受付事務を実施している。

(単位:件)

年度	令和元	2	3	4
申請者数	6	-	2	-